

●第13回 NCL セミナーのご案内●

「創造する脳～音楽と情動の調べ」

- 日時) 2014年3月18日(火) 13:00～17:00
- 会場) 東京都立産業貿易センター 浜松町館 M3階 第3・4会議室
(東京都港区海岸 1-7-8 東京都立産業貿易センター 浜松町館)
- 参加) 会員および一般市民 60名 (参加費無料)
- 趣旨)

私たちの生活は音楽にあふれています。最近では、音楽による情動への影響に関する研究が活性化し、音楽の力を考えるうえで、本分野はとりわけ興味深いテーマとなりました。

今セミナーでは、最初に、情動情報研究の第一人者 岡ノ谷一夫先生より、人間はいかにして芸術行動を為すようになったのか、人間はなぜ芸術の美的価値を進化させてきたのか、人間だけの芸術の特異性について最新の知見をお話いただきます。併せて、音楽から影響を受けて生じる情動のメカニズムとはいかなるものか、音楽情動の歴史と理論、測定法、脳を含む生理的・心理的知見を解説いただきます。

次に、作曲家・メディアアーティストの古川 聖 先生より、音楽情動の知見を創作に応用できる画期的な方法、脳波による作曲システムを披露いただきます。音楽情動の理解が個人と社会のためにどんな楽しい世界を創っていくのか、その未来を皆さんとご一緒に体感してまいりたいと思います。

加えて、本年度の NCL 創造性研究奨励賞の授賞式では、受賞者それぞれの素晴らしい研究テーマへの賞賛と今後の発展的研究への奨励をいただきましたら幸いです。 NCL理事長 多根 伸彦

●プログラム)

第一部 授賞式「2013年度NCL創造性研究奨励賞」

進行 NCL創造性研究奨励賞選考委員長 甘利 俊一

第二部 講演「音楽の至近要因と究極要因」

東京大学総合文化研究科教授 岡ノ谷 一夫 氏

第三部 講演「脳波を使った音楽表現プロジェクト"Brain dreams Music" について」

東京芸術大学美術学部先端芸術表現科教授 古川 聖 氏

講演者のご紹介



岡ノ谷一夫(おかのや かずお) 1959年栃木県生まれ。慶応義塾大学文学部卒、米国メリーランド大学心理学研究科修了、心理学博士。千葉大学助教授、理化学研究所チームリーダー等を経て、現在東京大学教授、科学技術振興機構ERATO岡ノ谷情動情報プロジェクト総括。自己意識の科学的な理解を求めて、コミュニケーションの生物心理学的研究を進めている。近著に「つながりの進化生物学」(朝日出版社)がある。趣味は古楽の演奏。



古川 聖(ふるかわ きよし) 1959年東京生まれ。入野義郎氏に師事、ベルリン、ハンブルクの音楽アカデミーでイサン・ユン、ジェルジ・リゲティのもとで作曲を学ぶ。1991年に米国のスタンフォード大学で客員作曲家。ドイツのカールスルーエの ZKM でアーティスト・イン・レジデンス。作品は、新しいメディアと音楽の接点において成立するものが多く、1997年の ZKM の新館のオープニングでは委嘱を受けて、マルチメディアオペラ『まだ生まれぬ神々へ』を制作・作曲。2000年より東京芸術大学美術学部助教授、2013年より同教授。